

モバイルバッテリーの買い方、使い方

出典:日経パソコン 2026 5.11

最近、モバイルバッテリーの事故が増え、航空機への持ち込みも規制されました。今回は上手な付き合い方を紹介します。

1. 処分方法

- ①自治体の回収サービスを利用
- ②家電量販店のリサイクルBOXを利用
- ③大手キャリア（NTTドコモ、au、ソフトバンクなど）の回収サービス

2. 仕組みと事故の原因

電解液・正極・負極がセパレーターで仕切られた構造で、正極と負極の間の電解液を通して電荷が移動することにより、充放電が行われる

- ①ほとんどのモバイルバッテリーはリチウムイオン電池を内蔵し、熱や衝撃に弱い性質があり、落下等の衝撃により、熱暴走し発火する
- ②手軽に使える利便性から需要拡大に伴い粗悪品も増え、事故が増えている

3. 安全に使うための対策

- ①物理的衝撃を与えない（特に落下に注意）
- ②過充電・過放電しない（セパレーターの劣化が早まる）
- ③高温環境を避け、異常発熱にも注意（夏の車内、窓際の直射日光、こたつ布団の中・電気カーペットの上など、熱がこもる場所など）
- ④使い込んだ製品を使い続けない（2～3年、充放電回数500回程度）
- ⑤リコール情報をこまめにチェック

4. 危険な兆候を見分ける（異常があれば、使用しない）

- ①膨らみなどの変形、変色・液体漏れ、ガタつきがないか
- ②異常臭がしないか
- ③異常な熱、異音がないか

5. 発火したら、爆発の可能性もあるので、距離をとり、まず身を守る 消防への通報、消火活動を行う

6. 賢い選び方

- ①サポート体制がしっかりした信頼できるメーカーか（事業者不明に注意）
- ②国が定めた安全基準をみたしているか（PSEマーク等）
- ③発火などの事故を防ぐ重要な保護機能を備えているか
（過充電、過放電、過電流、過電圧、過温度、短絡時保護）

7. 安全性の高いNaイオン電池、準個体電池、個体電池の開発が進んでいます。